

## トノサマガエル と ウシガエル

### トノサマガエル



録音 か 写真

水田や池などに広く分布するスマートなカエルです。  
近年生息数が減少し、富山県の準絶滅危惧種に指定されています。繁殖期（4~6月）には夜間水田などで、オスが左右のあごの下の袋（めいのう鳴嚢）をふくらませ、大きな声で鳴きます。体長5~9cm。

オスの体は緑色をおび、メスは灰褐色をしています。  
どちらにも背中<sup>はいちゆうせん</sup>の中央にはっきりとした黄緑または白の線（**背中線**）があります。



トノサマガエル (メス)

背中にたての線がある

近づくとすぐに逃げますので、そっと近づくか、やや遠くから**望遠**で撮影して下さい。

### ウシガエル



録音



食用として持ち込まれた北アメリカ原産の外来種で、別名ショクヨウガエルとも言います。池や流れのゆるい河川などに生息し、体長11~18cmにもなる大型のカエルです。オスはその名前の通り「牛」によく似た低く大きな声で、繁殖期の5~9月頃に昼夜を問わず鳴きます。

体色は、暗褐色から緑色で、目の後ろに大きな鼓膜があります。

また、ウシガエルのおたまじゃくしは、秋から冬にかけて大きくなり、越冬して翌年変態します。

姿を見つけることが難しいので、**鳴き声を録音**してください。

携帯電話やデジカメの動画機能で5~6秒間撮影（録音）すると、ファイルを送りやすくお勧めです。姿が映っていないなくてもかまいません。